

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE 広島 2016年版

広島銀行 新本店ビル 本店棟

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

欄に数値またはコメントを記入

配慮項目	評価点	重み係数	内 訳			
■1. 「地球温暖化対策」の推進						
1.1 建物の熱負荷抑制						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	5.0	0.18	Q1 室内環境	2 温熱環境	2.1 室温制御	2 外皮性能
庇と複層ガラスを使用することによって高い外皮性能とした	4.2	0.82	LR1 エネルギー	1 建物外皮の熱負荷抑制		
小計	4.3	0.13				
1.2 自然エネルギーの利用						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	5.0	1.00	LR1 エネルギー	2 自然エネルギー利用		
自然換気システムや地中熱利用システムの採用を行った						
小計	5.0	0.05				
1.3 設備システムの効率化						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	4.2	1.00	LR1 エネルギー	3 設備システムの効率化		
コジェネ・高効率熱源機器の採用により高効率システムとした						
小計	4.2	0.26				
1.4 設備システムの効率的運用						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	5.0	0.50	LR1 エネルギー	4 効率的運用	集合住宅以外の評価	4.1 モニタリング
BEMSを利用したエネルギーの見える化を行い、効率的に運用改善できる方策を立案	4.0	0.50	LR1 エネルギー	4 効率的運用	集合住宅以外の評価	4.2 運用管理体制
	3.0	0.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用	集合住宅の評価	4.1 モニタリング
	3.0	0.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用	集合住宅の評価	4.2 運用管理体制
小計	4.5	0.11				
1.5 資源・マテリアル対策						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	4.0	0.10	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.1 節水	
雨水利用システムの採用やリサイクル材の採用を行った	4.0	0.11	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	1 雨水利用システム導入の有無
	3.0	0.05	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	2 雑排水等利用システム導入の有無
	3.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減	
	3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.2 既存建築躯体等の継続使用	
	5.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	
	5.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
	2.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.5 持続可能な森林から産出された木材	
	5.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	
小計	4.0	0.32				
1.6 ライフサイクルCO2排出率						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	4.1	1.00	LR3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮		
高効率機器、自然エネルギー利用等により、ライフサイクルCO2を大幅に削減する計画						
小計	4.1	0.13				
1. 「地球温暖化対策」の推進の評価						
	4.2	0.72				
■2. 「ヒートアイランド対策」の推進						
2.1 温熱環境の向上						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.49	Q3 室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出		
	3.0	0.24	Q3 室外環境(敷地内)	3 地域・アメニティへの配慮	3.2 敷地内温熱環境の向上	
	3.0	0.27	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.2 温熱環境悪化の改善	
小計	3.0	0.97				
2.2 交通負荷抑制						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	5.0	1.00	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制	3 交通負荷抑制
適切な量の駐車・駐輪台数の確保や渋滞に配慮した位置に出入口を計画した						
小計	5.0	0.03				
2. 「ヒートアイランド対策」の推進の評価						
	3.1	0.18				
■3. 「長寿命化対策」の推進						
3.1 耐用性の向上						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	5.0	0.50	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震・制震・制振	1 耐震性(建物のこわれにくさ)
免震構造の採用や、内外装、設備ダクト・配管等に耐久性の高い仕上を使用	5.0	0.13	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震・制震・制振	2 免震・制震・制振性能
	3.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	1 躯体材料の耐用年数
	5.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔
	3.0	0.04	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔
	5.0	0.04	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	4 空調換気ダクトの更新必要間隔
	4.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	5 空調・給排水配管の更新必要間隔
	3.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	6 主要設備機器の更新必要間隔
小計	4.6	0.67				
3.2 設備の更新性						
(コメント) ※設計の計画段階に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性
更新のための適切なスペース計画や搬出入計画により、設備の更新性を確保した	5.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	2 給排水管の更新性
	5.0	0.10	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	3 電気配線の更新性
	3.0	0.10	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	4 通信配線の更新性
	5.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	5 設備機器の更新性
	4.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	6 バックアップスペースの確保
小計	4.2	0.33				
3. 「長寿命化対策」の推進の評価						
	4.4	0.10				
■重点項目の総平均(上記3項目)						
	4.0					